

平成29年度すみだタウンミーティング

東京2020オリンピック・パラリンピックの盛り上げ、もてなし、もちよる会

会場：すみだ生涯学習センター B棟1階 エントランスホール

日時：9月30日(土)午後2時から午後4時まで

出席者数：48名

(1) 30秒スピーチ

～テーマ「東京2020オリパラに向けての盛り上げ方・もてなし方」～
「盛り上げ方・もてなし方」について

・東京スカイツリーを中心にオリンピックを盛り上げたい。墨田区にはすみだ北斎美術館やすみだ北斎美術館などたくさんある。

「盛り上げ方」について

・区内イベントで和太鼓を叩いている。様々な方に和太鼓の力強さを感じてもらいたい。ボクシングの試合前に聴いていただければ士気も上がる。

・スポーツは、誰もが「参加できる」「観戦できる」良さがある。スポーツを通して、高齢者の方なども巻き込んだまちづくりを行いたい。

・太極拳北京国際大会で優勝した経験がある。外国人とは言葉が通じなくてもスポーツを通して通じ合える。

・和太鼓は耳の聞こえない方にも振動で楽しむことができるため、広めたい。

「もてなし方」について

・本日、すみりんピック(障害を持った方のオリンピック)を区役所で開催している。福祉の力を社会に活かす活動をしている。

・観光客向けのスマホアプリを作って、メディアを活性化させたい。

・「SEKAI CAFE」という飲食店を経営している。食べ物・心・言葉のバリアフリーや電子仮想通貨を広めたい。

・観光客向けに、廃校の中学校などを利用して格安の宿舎を提供したい。

・観光案内所を東京スカイツリー、両国などに作り、ボランティアを利用して案内したい。

(2) 区長との対話

1 和太鼓について

太鼓の活動を行っている。春は桜橋、10月はすみだまつりで演奏している。アメリカでも公演したこともあり、すごく盛り上がった。多くの皆さんにご覧いただき、国内外にPRしていきたい。東京マラソンでも選手の応援として演奏し、「すごく励みになった」という意見もいただいている。ボクシングの試合前にも是非演奏したい。

区長：和太鼓の皆さんが、色々活躍しているのを拝見している。「墨田区＝太鼓のまち」でもあり、日本の伝統文化でもある。

先日、錦糸町の体育館でフェンシングのアジア大会が行われた際、開会式で和太鼓を演奏し、選手の皆さんも感動していた。どの場所でどういう風に

盛り上げるのかを考える必要がある。演奏する子供たちにとってもレガシーとして一生に残る思い出にもなる。実現に向けて考えていきたい。

2 福祉について

パラリンピックは墨田区に関係ないのではないかと、という声もある。今年には「第3回すみりんピック」ということで、「アンケートの仕分け」のオリンピックを開催している。「オリンピック・パラリンピック・すみりんピック」の3拍子で盛り上げて、福祉の力を社会に役立てたい。「すみりんピック」は本日で終了となるが、来年、再来年と続くようなので是非興味をもってほしい。

区長：オリンピックだけでなく、パラリンピックも一緒に盛り上げていく必要がある。すみだまつり・こどもまつりでも、ノーリミッツチャレンジという活動を行っており、去年は車いすラグビーの選手を招いた。今年は車いすアーチェリーとボッチャを行う。是非、皆さんの福祉関係の活動も取り入れたい。

また、ユニバーサルデザインやユニバーサルマナーを身に着けて、国際交流を図ることも重要である。障害者の方だけでなく、妊婦さんなどを見かけたら、「何かしましょうか？」と声をかけられるかどうかが大事だと思う。子供たちにもこういった優しい心をもって育ててほしい。

3 格安宿舎について

日本は観光客が多い。墨田区も是非オリンピックに向け、小中学校の廃校を利用するなどして、格安宿舎を提供すれば観光客が増えると思う。人が集まらなくても、将来的には廃校を利用した介護施設を作り、人を呼び込んでほしい。

区長：現在日本には約2,600万人の外国人観光客が訪れている。3年後は4,000万人を目標としている。宿舎が足りないという声は上がっているが、違法民泊の問題もあり、合法的に来訪客を迎えないといけない。安心安全を守りながら取り組んでいく必要がある。

4 スマホアプリでおもてなしについて

すみだならではの観光客向けの多言語アプリを配信したい。飲食店やホテルのほか、快適に過ごせるサービスを提供できるようコンシェルジュのような形でサポートしたい。仮想通貨を発行して、地域にお金を落とすスキームもいい。観光客がわからないことをチャット形式で回答するシステムも作りたい。

区長：最近のIT関連の進化が目覚ましい。観光地、飲食など利用率は相当高い。3年後はさらに大きくなることが見込まれ、墨田区としてもそこにアジャストしないとけない。今の提案のいいところは「すみだならではの」というところ。すみだの独自性をアピールしていくことが大事である。多くの方の意見を聞きながら準備をしていきたい。

5 案内所・ボランティアについて

駅で外国人が切符を買う際のちょっとした案内等をわかりやすく説明す

るといいのではないか。また、皆さんのダンスの中に眠っている着物や使っていない箸や扇子など、外国人に持ち帰ってもらおうと喜んでもらえる。ボランティアを活用して、東京スカイツリーや両国などで区内を案内できる地図を渡すのもいい。

区長：区内で観光案内所を3つ(両国江戸NOREN、まち処、区役所2階)設けている。3年後にどういう案内をしていくかは重要なテーマである。両国でボクシングを見終わった後に区内を見ようと思ったのに、案内がわかりづらいと皆さんがっかりしてしまう。これからしっかり整備していく必要がある。ボランティアもオリンピック・パラリンピックに向けて東京都が募集する。

オリンピック・パラリンピック準備室長：来年の夏ごろに組織委員会と東京都が約9万人のボランティアを募る予定である。現在、東京都と特別区で募集方法を検討しているところである。それとは別に、墨田区では「外国人おもてなしボランティア講座」を年5回やっている。ホームページ等で案内しているので、ぜひご覧いただきたい。

6 食のバリアフリーについて

浅草と押上で飲食店を営んでいる。浅草は外国人が7割、押上は2割程度である。まち全体で墨田区として外国人を受け入れる体制ができているのかが疑問である。まち全体で外国人に向けたおもてなしの仕組みが何かできるのではないか。

区長：墨田区も外国人を迎える全体的な体制を研究する必要がある。今後3年の中でお客様の利便性の向上も含め、検証をしていかなければならない。皆さんでも研究していただき、区に提案もしてほしい。

(3) オールすみだM3コンテスト

第3位「綱引き in 桜橋」エントリー番号

提案者：桜橋で綱引きをしたいと思っている。対戦相手は台東区。介護の仕事をしているので、高齢者と話す機会も多く、川向うに負けたくないという思いが強い。戦ったあとに台東区と仲良くなって互いを称えあう。先頭は両区の区長にぜひやってほしい。

区長：台東区と姉妹区連携を結んで今年が40周年である。桜橋は姉妹区連携を記念して作られた。まさに今年は記念すべき年であり、観光や文化芸術の連携方法を一緒に考えている。こういう面白いアイデアがあったことを是非台東区にお伝えしておく。

第2位「のぼり旗」エントリー番号

提案者：墨田区ラジオ体操連盟の副会長をやっている。公園でラジオ体操を行うにあたり、今年からのぼり旗を立てた。東京マラソンの際、横網町公園にものぼり旗を立てたら、選手から良かったという意見もあった。是非各町会にのぼり旗を配っていただき、町全体で盛り上げていきたい。

区長：のぼり旗でまちを盛り上げ、目でオリンピック・パラリンピックだと

わかるような形にすることが重要だと思う。区でもいろいろな形で旗を作っているが、もし作るなら、デザイン性を研究してセンスの良いのぼり旗を作りたい。

第1位「和太鼓演奏」エントリー番号

提案者：先ほどもお話ししましたが、和太鼓で盛り上げたい。お声かけいただければ、墨田区外でも伺うので、ぜひよろしく願いしたい。

区長：皆さんにご活躍いただける機会が増えたらすごくいい。すみだ音頭、スカイツリー音頭のほか、東京五輪音頭もあるので、皆さんでしっかり叩いていただきたい。